

1 題材名 「段ボールで座ってみよう」(選択教科の発展的学習)

2 題材のねらい

題材観，指導観について

デザインの領域は，美術科において生活の中に密接に関わっている領域の一つである。様々な生活用品についてデザインされていないものはないほどである。

しかし，デザインという領域について，生徒は，ポスター制作やレタリングなどといった平面制作を中心にイメージしており，工業デザインなどは，どちらかといえば技術科の領域であるといったイメージを持っている。そのため，生活の中のデザインが美術科の領域にも関わっていることをあまり認識していないのが現状である。

本題材では，選択教科美術の中でデザインの発展的学習として，「椅子」または「座る」をテーマにして生活用品のデザインについて学習する。

様々な椅子のデザインをインターネットなどのデジタルコンテンツを活用し，インターネットなどの利点を生かし広範囲に調べることで，今まで考えることのなかった生活用品のデザインのよさやおもしろさへの理解を深められるのではないかと考えている。そして，段ボールという強度的に限られた素材を使って実際に椅子の制作を行い，その難しさを体感することで，椅子の役割や構造について実感できるのではないかと，そして，同時に生活の中におけるデザインについて認識を深めることができるのではないかと考え本題材を設定した。

3 指導に当たって(デジコンの活用)

本題材を指導するに当たって，生活のデザインについて理解を深めるために椅子のデザインについて学習し，実際に段ボール(180cm×90cm)を使い，人が一人，不安なく座れる椅子を作ることを目的とする。

この課題では，はじめに椅子のことについて学習するために，インターネット等のデジタルコンテンツを用いた調べ学習を行っていききたい。

本課題の調べ学習では，「座る」ための機能とはどんな機能なのか，「椅子」のデザインにはどのような物がありどんな素材で作られているのかといったデザインを中心とした調べ学習を行っていききたい。

しかし，工業デザインといった分野について，学校内の図書室の文献では，調べ学習に必要な資料は，充実していないのが現状である。そこで，インターネットのサイトや，CD-ROM等を活用することで，調べ学習を深めていくことができるのではないかと考える。

インターネットを活用した調べ学習を行うに当たって，二つのテーマで，学習を進める必要がある。一つは，座るといふ椅子の基本的な機能について，共通に理解しなければならない部分と二つ目は，生徒各自が独創的な椅子のデザインを制作するための資料作りである。

この二つのテーマで調べ学習をするに当たって，テーマに沿ったワークシートなどを作成し，生徒が効率よく調べ学習ができるようにしていくよう工夫する必要がある。

二つのテーマで行った調べ学習の成果をもとに，段ボールを使った椅子のデザインを行うことで，椅子のデザインについての理解を図っていききたい。

参考 URL

- ・ 検索用 <http://www.yahoo.co.jp/>
- ・ 家具デザイン <http://www.asahikawa-kagu.or.jp/ifda/>
- ・ 椅子のデザイン <http://www.asahi-sofu.co.jp/compe/> 等

4 指導目標

- (1) 椅子のデザインをとおして、生活のデザインについて興味を持たせ制作に取り組みさせる。
- (2) 調べ学習をとおして、椅子のデザインについて理解させ、独自のデザインを考えさせる。
- (3) 段ボールという限られた素材を使って、人が座れる椅子を作らせる。
- (4) 調べ学習をとおして、椅子のデザインの高さや美しさについて理解させる。

5 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想・構想	表現・技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・ 椅子の機能やデザインについて意欲的に調べようとする。 ・ 椅子のデザインについて自分なりの考えを意欲的にまとめようとする ・ 作品制作に積極的に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べ学習をとおして椅子の機能やデザインについて理解を深めようとする。 ・ 制作の条件を理解しその中で効果的な椅子のデザインを発想することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が計画したデザインを十分に生かし、制作することができる。 ・ 素材にあった道具の使い方や加工ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べ学習をとおして椅子の機能やデザインの高さ・美しさを味わうことができる。 ・ 友達の作品を鑑賞し、その高さについて理解することができる。

6 題材の指導計画

次	時間	目標	学習活動	指導上の留意点及び準備
1次	1時間	「座る」について考えよう	<ol style="list-style-type: none"> 1 チームを作り、座るための道具を考えられるだけ見つけ出しイラストにしていく。 2 各チームごとに発表し座るための道具としての椅子をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座るための道具とはどんな物が考えさせる。 ・ 椅子にこだわらず座るための道具として考えさせる。 ・ ワークシートをつくりまとめやすいようにする。
2次	1時間	椅子について調べてみよう。	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートをもとに椅子についてインターネットで調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 椅子の歴史 ・ 椅子のデザイン ・ 素材の変わった椅子 2 調べた内容をワークシートにまとめ、発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットで調べやすいように椅子について様々な課題を設けたワークシートを作成する。 ・ 調べる上で中心になるサイトを紹介し、そこから調べていくように指導する。
3次	3時間	段ボールで椅子を作ろう。	<ol style="list-style-type: none"> 1 板状の段ボール(180×90)を使い、人が不安なく座れる椅子のデザイン及び製図を行う。 2 アイデアスケッチ及び図面を元に椅子の制作をする。 3 完成した作品の発表会を行い、感想を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段ボールという素材について十分理解させた上でアイデアスケッチをさせる ・ 段ボールを加工する際の道具の使い方について説明する。

(1) 目標 「椅子について調べてみよう」

(2) 指導に当たって(デジコン活用を含む)

前時で座るための道具とはどのような物があるか考え、まとめさせた。本時では、椅子にはどんな歴史があり、またどんなデザインがあるのか、インターネットなどを活用した調べ学習を行う。

調べ学習を進めるに当たって、中心になることは、一つは座る道具としての機能について、二つ目には実際に段ボールを使って椅子を制作することをふまえた。デザインの資料作りである。そのためには、調べ学習の目的を理解させると同時に、テーマに沿ったキーワードをもうけたワークシートを作成したり、あらかじめテーマに沿ったサイトをいくつか準備したり、効率よく調べ学習が進められるようにしていきたい。

(3) 実際

過程	学習活動	時間	指導上の留意点及び準備
導入	1 前時の内容を確認し、本時の目標を聞く。	10分	・ 前時で行ったことをもとにインターネットなどを使い椅子についての調べ学習を行うことを知らせる。
展開	2 世界で一番古い椅子、逆に最新の椅子はどんな物が調べる。 3 家具会社のサイトなどを使い、様々なデザインの椅子を探し出し、自分の気に入ったデザインの物を5つ見つけワークシートにスケッチする。 4 探した椅子から変わった素材の物を選び、まとめる。 5 まとめたワークシートをお互いに発表し合う	30分	・ ワークシートを配り、項目に沿って順番に検索させる。 ・ 机間巡視を行い、参考になるサイトの紹介をしながら、調査方法などのアドバイスを行う。 ・ 途中に参考になるサイトを見つけたら、全員に公表しそこへアクセスするようにさせる。 ・ 椅子の材料として使われる物は何か考えさせる。 ・ 特に紙で作られている物はないか調べさせる。
終末	6 次時の内容と準備について聞く。	10分	・ 次時では段ボールを使った椅子のデザインをすることを説明する。

(4) 評価

関心・意欲・態度	発想・構想	技術・技能	鑑賞の能力
椅子の機能やデザインについて意欲的に調べようとしたか。 (机間巡視, ワークシート)	調べ学習をとおして椅子の機能やデザインについて理解を深められたか。 (ワークシート, 教師の問いかけなど)		調べ学習をとおして椅子の機能やデザインのよさ・美しさを味わうことができたか。(ワークシート, 発表, 他の生徒の表現など)